



2026年7月8日

日本鉄道労働組合連合会

J R 東海ユニオン「第35回定期大会」

組織の変化を組織の強化につなげていく運動方針を確立！



鎌田委員長

J R 東海ユニオンは7月3日、豊橋市において、第35回定期大会を開催し、9年目となる中期目標『UNION FUTURE ⇒2027』に基づく2026年度の運動方針を確立した。

冒頭、鎌田隆司中央執行委員長は、締結から10年目を迎える「将来宣言」の位置づけ、役割、意義に触れつつ、「健全で強固な労使関係のもと、変化の激しい時代で組合員の価値観も多様化しているからこそ、その多様性を原動力に労働組合運動を発展させていこう」と力強く呼びかけた。



今井事務局長

J R 連合からは今井孝治事務局長および谷口昌隆組織・政治局長が参画。今井事務局長から、安全、組織、政策、政治活動の主要課題に触れ、とりわけ、組織拡大について、東海地方協議会の取り組みが好事例であることを共有し、地協活動のさらなる活性化に向けて引き続きの連帯を要請した。また、交運労協からの来賓として福森敬和事務局次長から、関係省庁への要請活動、審議会への参画を通じて、公共交通の発展に取り組む旨、J R 東海会社からの来賓である武田健太郎副社長からは、将来宣言に基づき労使で組合員・社員の声を受け止めて労使関係をより充実したものしていく旨、それぞれ挨拶があった。



福森事務局次長

議事では、「安全の確立」「組織の活性化」「ハートフルカンパニーの実現」を柱とする運動方針が提起され、23名の代議員等から、安全、業務課題、各取り組み、TUNAGアプリの活用、次期中期目標に関する発言などの意見・要望が出された。執行部答弁後、総括答弁に立



相良書記長

った相良夏樹書記長は、「取り巻く環境の変化が激しい中でも、これからも労使関係を基軸に課題に向き合っていく」と決意を述べ、すべての議案が採択された。最後は鎌田中央執行委員長の団結がんばろうで大会を締め括った。



団結がんばろう